

久慈国家石油備蓄基地における協力会社作業員の負傷について

日本地下石油備蓄株式会社

弊社が、独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構から管理を受託している久慈国家石油備蓄基地において、2024年4月1日（月）、工事協力会社作業員1名が負傷する労災事故が発生しました。

今回の事故は、工事協力会社が基地近隣海域においてタンカー係留用ブイの設置準備作業中、作業に従事していた協力会社の作業員（潜水士）が、係留用ブイを海底に固定する中間シンカー（重り）の属具（鉄製のリング）とリング引き起こし用ワイヤーの間に右手を挟み、負傷したものです。

事故後、被災者は病院で治療を受けていたところでしたが、その後の検査などにより、右手関節不全切断と診断され、3週間以上の入院が必要と判明しました。事故にあわれました作業員およびご家族に対しまして、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早くご快方に向かわれることをお祈り申し上げます。

弊社の発注業務において発生しました労働災害を重く受け止め、工事協力会社とともに、事故原因の究明と再発防止に努めてまいります。

■ 本件に関する問い合わせ：

企画総務部 小滝 TEL:03-4212-4001